

卯月愛南文芸

城辺俳句会

白魚網手繰れば光る命かな
 旧暦の雪降る宮に詣でをり
 絵手紙や梅の開花は遠からじ
 春浅し沢の流れの水澄みて
 紅梅の紅遠くより近くより
 閻魔絵の由来の法話斑雪
 黒光る梁の茶房や春炬燵

宮田志賀子
 北原 桃代
 山田 静恵
 中川 八重
 加納 幸子
 大浜 紀子
 大和田いそ子

城辺川柳会

「人」
 人ごとと思えず地震来る話
 人の道はずさぬように古希を過ぎ
 素敵な人逢えて嬉しい時忘れ

玉子
 拡
 富士子

曼殊沙華私一人で歩む道

百代

目の前の人からまずは手を添える
 いい人はいいな別れのいい余韻
 何してもお人まかせののんき者
 氷上で人はいつしか鳥になる

暁
 一会
 律子
 佐賀

新しくの葉短歌会

さらさらと降りかかる雪を見る窓辺オルゴールはショパンの曲くり返す
 七日程どこかに落として来たように一月は過ぎ二月も半ば
 家路を急ぐ夕間暮れ雪女現れそうなぼたん雪降る
 ふぶく中瀬戸大橋を渡りたりはらから四人話す者なし
 ちちとなく小鳥の声の小さくてどこに居るのか庭木に目をやる
 霜置けるブロッコリー採る手のかじかむを夫は返り見て我を氣遣う

前田 充
 宮下喜久子
 河上 明美
 藤森多摩子
 長田ハル子
 西崎 文恵

はじめまして。赤ちゃん。

2月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

2月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。